

令和元年度 認知症月間(11月)の実績について

認知症になっても、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるためには、「認知症は誰もが発症する可能性のある疾病である」、「認知症は地域で見守り支えることが大切である」ということを多くの市民に周知し理解していただくため、本市では11月を認知症月間と位置づけ、誰もが気軽に参加のできる様々なイベントを実施いたしました。参加実績につきましては以下のとおりです。

1 認知症関連図書コーナー

開催日時：令和元年10月9日(水)～12月5日(木)

開設場所：市民図書館1階 カウンター前

内 容：認知症に関する理解を深めるため、市民図書館の貸し出しカウンター前に認知症関連図書コーナーを開設。

また、認知症地域支援推進員、包括支援センター職員、市民図書館職員による、おすすめの認知症関連図書9冊を紹介した小冊子を作成した。

配布場所：市役所、市内図書館5施設

2 市民ロビーパネル展示

開催日時：令和元年10月17日(木)～11月22日(金)

開設場所：市役所1階 市民ロビー

内 容：認知症に関する理解を深めるため、市内5つのグループホームで生活されている方々の日常を紹介した「認知症のかたの認知症グループホームでの生活」ポスター展(A1サイズ)を実施。また、認知症月間の普及啓発物として横断幕とのぼり旗を展示。

3 認知症サポーター養成講座

開催日時：令和元年11月4日(月・振) 13:00～14:30

参加者数:12人

開設場所：市役所1階 市民ホール

内 容：認知症を正しく理解し、認知症のかたや家族を温かく見守る応援者になってもらうとともに、自分の可能な範囲で、認知症のかたを地域で支援する人材を育成する講座を開催。

4 認知症に関する市民向け講演会

開催日時：令和元年11月9日(土) 13:00～15:00

参加者数:65人

開設場所：市民ホール

内 容：1部 出前寄席「高齢者を狙った詐欺に関連した消費者問題小話」
2部 地域の専門医による市民に向けた認知症に関する講演会
(講師：たかつきクリニック医師 宮下光弘 氏)

3部 意見交換会 喫茶森にて宮下Drを
交えての「認知症カフェ」

参加者数:12人

5 認知症カフェ（喫茶森）

開催日時：令和元年 11 月 20 日（水） 13:00～15:00

参加者数：5人

以後、毎月第3水曜日に開催

開設場所：市役所 1 階 喫茶森

内 容：認知症の方、家族、介護者、地域の方など様々な方が気軽に立ち寄りお茶を飲みながら交流していただくとともに、認知症に関する情報交換や相談を行う場として開催する。なお、障害者の就労施設にて実施することで障害者と高齢者が共に支え合う【地域共生社会】の実現の足掛かりとする。

6 認知症・・・みて！かんじて！うけとめて～in モリタウン

開催日時：令和元年 11 月 21 日（木） 13:30～15:30

参加者数：75人

開設場所：モリタウン東館 1 階 光の広場

内 容：漫才や寸劇を通して、認知症をわかりやすく説明。昭島市の認知症施策を併せて紹介。また、自動車安全装置の紹介も実施。

7 おばあちゃん、み～つけた♪（旧 徘徊模擬訓練）

開催日時：令和元年 11 月 23 日（土・祝） 10:00～12:00

参加者数：30人

開設場所：総合スポーツセンター・昭和公園

内 容：高齢者探索システム（GPS 端末）を活用し、親子で道に迷ってしまった認知症のおばあちゃん役を探索体験。

8 認知症市民ひろば（主催：昭島市社会福祉協議会）

会 場：あいぼっく（保健福祉センター）

参加者数：130人

開催日時：令和元年 11 月 30 日（土） 10:00～16:00

内 容：若年性認知症に関する講演会、当事者の話、予防のための食事・体操、疑似体験などを実施。

9 認知症初期集中支援チームの紹介動画の作成

内 容：認知症月間では多くの市民に認知症施策を周知できる機会であったので、認知症初期集中支援チームの紹介動画の作成及び公開を行った。現在も市のホームページで公開をしている。

